

令和7年度 勝央美術文学館特別展



2025. 07.19 sat
— 09.15 mon

未来の記憶

水嶋早樹作品展

—ヒロシマ・ナガサキ・戦後80年—

 勝央美術文学館
SHOO MUSEUM OF THE ARTS

〒709-4316 岡山県勝田郡勝央町勝間田 207-4
Tel.0868-38-0270 Fax.0868-38-0260
E-mail shoomuse@town.shoo.okayama.jp

開館時間 10:00～18:00（入館は 17:30 まで）

休館日 月曜日（祝日の場合は翌平日）

観覧料 一般 500 円／大学生・高齢者（65 歳以上）100 円割引／高校生以下無料

障がい者手帳をお持ちの方および介助者 1 名は無料

※20 人以上の団体は 2 割引※学生証やシルバーカード等、年齢が確認できる証明書をご提示ください。※割引の併用は不可
主催 勝央町、勝央町教育委員会 後援 勝央町文化協会、（公財）美作学术文化振興財团、山陽新聞社、津山朝日新聞社、テレビ津山

水嶋早樹作品展 品評会・未来の記憶

半世紀以上にわたり広島・長崎の原爆投下をテーマに作品制作を続けてきた岡山県勝田郡勝央町在住の画家水嶋早樹（みずしまはやき）の集大成となる展覧会を開催します。広島・長崎の原爆投下から80年、戦後80年という節目に、このテーマを貫して追求してきた画家の画業を紹介します。

今もなお、世界のどこかで起きている戦争。戦争と平和について、改めて、ひとりひとりが考え、向き合うきっかけになればと願います。



1



2



3



4

広島平和記念公園をデザインされた丹下健三さん。

『平和は訪れて来るものではなく、闘いとらなければならないものである。平和は自然からも神からも与えられるものではなく、人々が実践的に創り出してゆくものである。』

この丹下健三さんの言葉と、

『戦争の記憶が遠ざかるとき、次の戦争が私達に近づいて来る。』

という思いから、いつか争いのない地球・人類になってほしい、ということを願い、微力ながら、自身の絵で表現してきました。

『安らかに眠って下さい、過ちは繰返しませぬから』

過ちは繰返しませぬから……戦後80年の2025年に、今一度、平和の大切さを考え、戦争の記憶を風化させないことが大切だと考えています。

また、自身の50年の画業を振り返り、10年後の、戦後90年にむけて、努力していきたいと思っています。

——水嶋早樹

表面：「沈黙するものたち」(2009)

1. 「沈黙するものたち」(2011)
2. 「沈黙するものたち」(2012)
3. 「未来の記憶」(2015)
4. 「未来の記憶」(2022)
5. 「被爆60年・広島平和公園」
(2005/2015描き込み)
6. 「被爆60年・広島平和公園」(2005)



5



6



1958年 岡山県美作市生まれ

1980年 高知大学教育学部（特設美術・工芸課程）卒業
広島市、岡山県北の中学校・高校で美術教諭として30年

2011年 53歳で公立学校退職

現在は・津山柳通り美術教室（YANABI）代表・「勝央美術文学館絵画教室」・「落合なんてんあん絵画教室」・「ゆのごうホタル通り絵画教室」講師・県北美術展協会副会長・岡山県美術展覧会審査員・審査会員・みまさかバレンタイン愛の美術展審査員・備前市美術展審査員・ミマサカドモ絵画展審査員
(受賞歴)

- ・県展「山陽新聞社賞」・「山陽新聞社大賞」・国展「国画賞」・「新人賞」
- ・関西国展「30周年記念賞」・「関西国画賞」・「ターナー賞」・「新人賞」・「渡辺賞」・「マルイ賞」
- ・しんわ美術展「グランプリ」・作東バレンタイン愛の美術展「大賞」・勝央の四季展「金賞」
- ・Art Exhibition瀬戸内大賞展「金賞」・「グランプリ」
- 他・高知県美術展「褒状」・OH K愛の美術展「奨励賞」

水嶋 早樹

MIZUSHIMA Hayaki



- 鉄道：JR岡山駅（津山線）→津山駅（姫新線）
→勝間田駅下車徒歩15分
- バス：中国ハイウェイバス
JR津山駅より15分／新大阪駅より2時間15分
《中国勝間田》下車徒歩5分
- 自動車：中国自動車道
津山ICより約15分／美作ICより約10分
／勝央ICより約5分
- 飛行機：岡山空港から車で約1時間10分

同時開催 ※入場無料

「ちるどれんずあーとプログラム作品展」
会期：2025.07.19 ㈯～08.11 ㈰

会場：町民ギャラリー1

「はつ展。」
会期：2025.08.15 ㈮～09.07 ㈰
会場：町民ギャラリー1